

「縦」の秋工対「横」の中央

全国高校ラグビー県予選

第87回全国高校ラグビー大会県予選最終日はきょう27日、秋田市の八橋球技場で秋田工一秋

花園懸け、きょう激突

第1シードの秋田工はFWを前面に出した突進が特徴。第2シードの秋田中央はBKの走力を生かした攻めを得意とする。「縦の突破」の秋田工と、「横への展開」の秋田中央がぶつかる構図。持ち味が対照的なのに、いかに相手の長所を封じ、自らのチームカラーを出せるかが、勝敗の分かれ目になりそうだ。

すかもポイント。対する秋田中央は、俊足ぞろいのBK陣が速い。

テンポでパスをつなぐラグビーが身上。CTB奈良敏太(同)、関山歩麻(同)を中心に守備は堅い。走力で上回るだけに、セットプレーに安定感の

あるFWからBKにボールを供給できればペースをつかめそうだ。両校は5月の中央地区総体決勝、6月の全県総体決勝で戦い、ともに秋田工が接戦を制している。

「花園」を懸けた今回は、立ち上がりの激しい主導権争いが見どころとなりそうだ。

秋工FW戦持ち込めるか

スタイルを賣いて

柴田久寛監督 準決勝では、秋田工らしい縦の突破を見ることができなかった。決勝では、FWを軸とする自分たちのラグビーを、最後まで貫



いてほしい。

課題はディフェンス

後藤賢主持 秋田工に入ったのは花園に行くため。FWの強さで押し込み試合の主導権を握る。課題はディフェンス。低い鋭いタックルで相手の



アタックを止めたい。

中央俊足ぞろいのBK陣

後手に回らず、前へ

古谷和義監督 後手に回らず、前に出て激しいディフェンスをする。セットプレーは必ずものにした。手にしたボールをどんどん回し、走って



トライに結び付ける。

ボールすべてBKに

吉田洋平主持 BKの足の速さが強み。ボールはすべてBKに回しトライを決めたい。準決勝で引き分けた男鹿工の分も合わせて、気持ちを秋田



工にぶつける。

きょうの試合

▽決勝

秋田工(13・00)

秋田中央

を



秋田中央 42年ぶり花園

ラグビー
高校県予選 秋田工を抑え優勝

第87回全国高校ラグビー中央が秋田工を30-10で
大会県予選最終日は二下し、秋田市立時代から
17日、秋田市の八橋球数えて42年ぶり6度目、
技場で決勝を行い、秋田秋田中央としては初の優
勝を飾った。

(関連記事10面に)

秋田中央は同点で迎え

た後半、BKの連続トラ
イで突き放した。秋田中
央は全国大会(十二月二
十七日)来年一月七日、
大阪・近鉄花園ラグビー
場)に出場する。

42年ぶりの花園出場を

決め、笑顔で応援席に
向かう秋田中央ファイフ
ティーン―秋田市の八

橋球技場

秋田中央 後半に猛攻

走り抜き、秋工撃破

全国高校ラグビー 県予選

〈最終日〉

意の展開ラグビーで立て続けにトライを奪ってリードを広げ、秋田工の反撃を1トライ(ゴール)、1PTGに抑えた。秋田中央が出場する全国大会は、12月27日に大阪・近鉄花園ラグビー場で開幕する。

秋田中央	30	(27-7)	3	10	秋田工
中央TOO13	42	21	27	30	
TGP前	11	10	7	9	
秋田工OO13	11	10	7	9	
				11	



【秋田工】秋田中央 後半17分、秋田中央WTB鈴木智がゴール右隅にトライ。秋田市の八橋球技場

栄光

42年ぶり6度目の優勝 秋田中央

県内随一の俊足BK陣



42年ぶり6度目の優勝を決めた秋田中央

が、その力を見せつけた。相手は5月の中央地区総体と6月の全県総体と、あと一步のところで苦杯をなめさせられた秋田工。古谷和義監督が思い描いた通りの走るラグビーで、実に42年ぶりとなる花園切符を手に入れた。

前半は五分五分。秋田工はFW、秋田中央はBKが中心になって相手ゴールま

で攻め込んだが、互いに決め手を欠いた。ハーフタイム。古谷監督はこれまで言ってきたことをもう一度、言い聞かせた。「ずっと攻め続けよう。走って攻め続けよう」

その言葉通り、選手は走り続けた。後半2分、得意のBK展開からWTB鈴木智裕(2年)がトライ。4分、浮足立つ秋田工を置き去りにして再び鈴木智が決めた。劣勢が予想されたFW戦でも押し負けることなく、奪ったボールのほとんどをBKに供給。BKは相手ディフェンスをかいくぐるように走り抜けた。

「42年の歳月。想像できない」と、38歳の古谷監督。快挙を成し遂げた選手たちを見詰めながら、「本当にすごいことをしてくれた」とねぎらった。

焦点

FW戦で押し込めず

秋田工

ノーサイド。勝利の喜びに沸く秋田中央とは対照的に、秋田工フィフティーンはグラウンド上でがっかりとうなだれた。

5、6月と2度あった秋田中央との対戦では、ともに勝利を収めている。その相手に、花園への切符を懸けた大一番



決勝で敗れ、がっかりと肩を落とす秋田工フィフティーン

で敗れた。涙を押し殺しながら応援席へあいさつに向かう選手たちの背中を見詰めながら、柴田久寛監督は「掛けてやる言葉が見つからない」。ぼうぜんとした表情で話した。

2年続けて決勝戦敗退。FW戦で押し込めず。FW戦で押し込めず。FW戦で押し込めず。

折、右足首ねんざという満身創痍(そうい)ながらも奮闘した。ともに大会前の練習で痛めたが、本来ならティーンキングな

前半は両校とも決め手を欠きノートライ。後半、秋田工は秋田中央のパス回しに足がついていかなかった。

木智がトライ。2分後には再び鈴木智がトライを決めた。その後もBK陣が展開ラグビーで相手ディフェンスを翻弄(ほんろう)し、トライにつなげた。

後半に入り、BKの走力でトライを稼いだ秋田中央が、秋田工の反撃を許さず快勝した。秋田中央は3-3で迎えた後半2分、WTB鈴木智がトライ。2分後には再び鈴木智がトライを決めた。その後もBK陣が展開ラグビーで相手ディフェンスを翻弄(ほんろう)し、トライにつなげた。

- 代洋田 梶野 山本正 右橋 健 (伊藤 夏井)
- 滝川 健 関 健 山本正 右橋 健 (伊藤 夏井)
- 【秋田工】 山本正 右橋 健 (伊藤 夏井)
- 伊藤 健 関 健 山本正 右橋 健 (伊藤 夏井)

「自分は決める」との思いを抱いてプレーしているという、「チームに貢献できてよかった」とほっとした表情を見せた。